

第 1 2 4 回 東京都技術会議

東京都技術会議組織名簿

(座長)

東京都技監（都市整備局長・都市整備局技監 兼務）

谷崎 馨一（土 木）

(副座長)

住宅政策本部長

山崎 弘人（建 築）

建設局長

久野 健一郎（土 木）

下水道局長

藤橋 知一（土 木）

(委員)

政策企画局技監（スポーツ推進本部技監 兼務）

三宮 隆（土 木）

都市整備局技監

栗谷川 哲雄（建 築）

都市整備局理事（航空政策・交通基盤整備・交通政策担当）

長尾 肇太（土 木）

保健医療局技監（福祉局技監 兼務・教育庁技監併任）

小竹 桃子（医 師）

スタートアップ戦略推進本部長

佐久間 巧成（土 木）

建設局道路監（デジタルサービス局理事（データハイウェイ推進担当）兼務）

齊藤 有（土 木）

港湾局技監

村田 拓也（土 木）

水道局技監

鈴木 理（土 木）

※ 財務局 建築保全部長

小野寺 弘樹（建 築）

※ デジタルサービス局次長

保家 力（事 務）

※ 環境局 環境改善技術担当部長

丹野 紀子（環境検査）

※ 中央卸売市場 環境改善担当部長

泉谷 信夫（土 木）

※ 東京消防庁企画調整部長

上原 源隆（消 防）

※ 交通局 車両電気部長

神田 隆司（電 気）

※ 交通局 建設工務部長

周郷 友義（土 木）

※ （産業労働局所管） 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

清水 研一（理工技術）

化学応用技術部長

※：オブザーバー

東京都技術会議について

- 東京都技術会議では、時代背景を踏まえた検討により蓄積してきたノウハウを生かし各局施策を下支え
- 設立当初から一貫して取り組んできた技術職員の技術力の維持向上、時代の潮流を捉えた新たな技術を活用・実装していくことをミッションとして技術職員が共有し活動を展開
- その成果を、2050東京戦略に掲げる政策に反映させていく

「2050東京戦略」
に掲げる社会課題

まちの安全・安心の向上

都市の強靱化

ゼロエミッションの推進

働き方改革

魅力・活力あふれる拠点形成

交通インフラの強化

医療体制の充実

防災力の向上

水辺のにぎわい・緑の創出

デジタルによるQOL・QOS向上

技術会議の構成局等

政策企画局

都市整備局

住宅政策本部

建設局

下水道局

保健医療局

スタートアップ
戦略推進本部

港湾局

水道局

財務局

デジタルサービス局

環境局

中央卸売市場

消防庁

交通局

産業労働局

東京都技術会議

- Mission 1 : 時代背景を捉えた検討・ノウハウ蓄積により各局施策を下支え
- Mission 2 : 約12,000人の技術職員が有する技術力の維持向上
- Mission 3 : 全庁連携により新技術を活用・実装

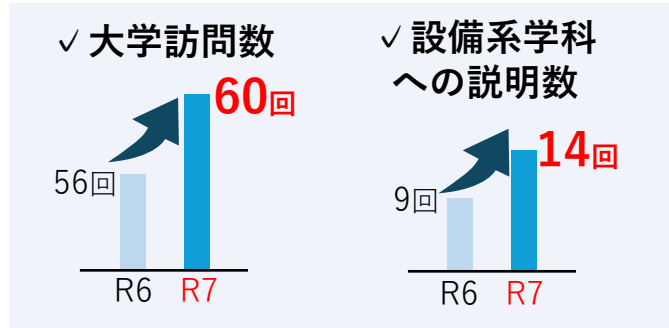
東京都技術会議における昨年度の取組

3つのMissionを踏まえ、「技術人材の確保」と「技術力の向上」を主要テーマとして取組を推進

技術人材の確保

☑ 都庁技術職員確保に向けた取組の強化

職員の出身大学とのつながりを生かしながら、**複数職種**の職員による訪問体制も整備し、各局連携して**大学訪問**を実施



複数職種による大学訪問

☑ 政策連携団体との連携

「都庁セミナー」へ**政策連携団体が初参加**

☑ 区市町村との連携

東京都都市づくり公社に人材バンクを設置し、**まちづくり人材確保支援について検討**



政策連携団体ブースの状況

☑ 建設業界のイメージアップ、工科高校生の育成

業界団体、教育庁、技術会議等で**連携体制を構築**

技術力の向上

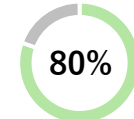
☑ 技術職員の人材育成・定着

技術職員の人材育成、定着に向けた方策検討のため、**課長代理級技術職員アンケート**の実施

<課長代理級技術職員（45歳以下）> 回答：576名（回答率62%）

職場環境の満足度

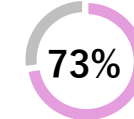
職場のコミュニケーション



が「円滑だと思う」

キャリア意識

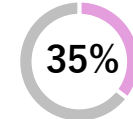
仕事にやりがい・昇進意欲



が「ある」

技術力維持向上

DXや新技術への職場の取組

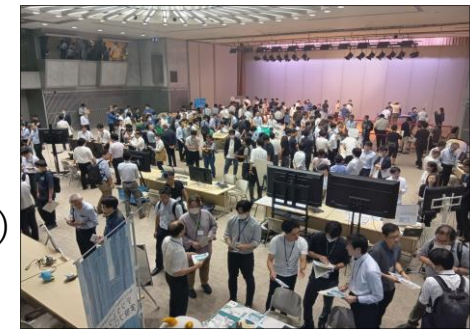


が「十分ではない」

☑ 職員のデジタルリテラシーの向上

デジタル技術体験会を初開催

- ・ 出展数：都庁各局19ブース
- ・ 参加人数：565名（区市43名参加）



デジタル技術体験会の様子

☑ 東京の技術力の発信強化

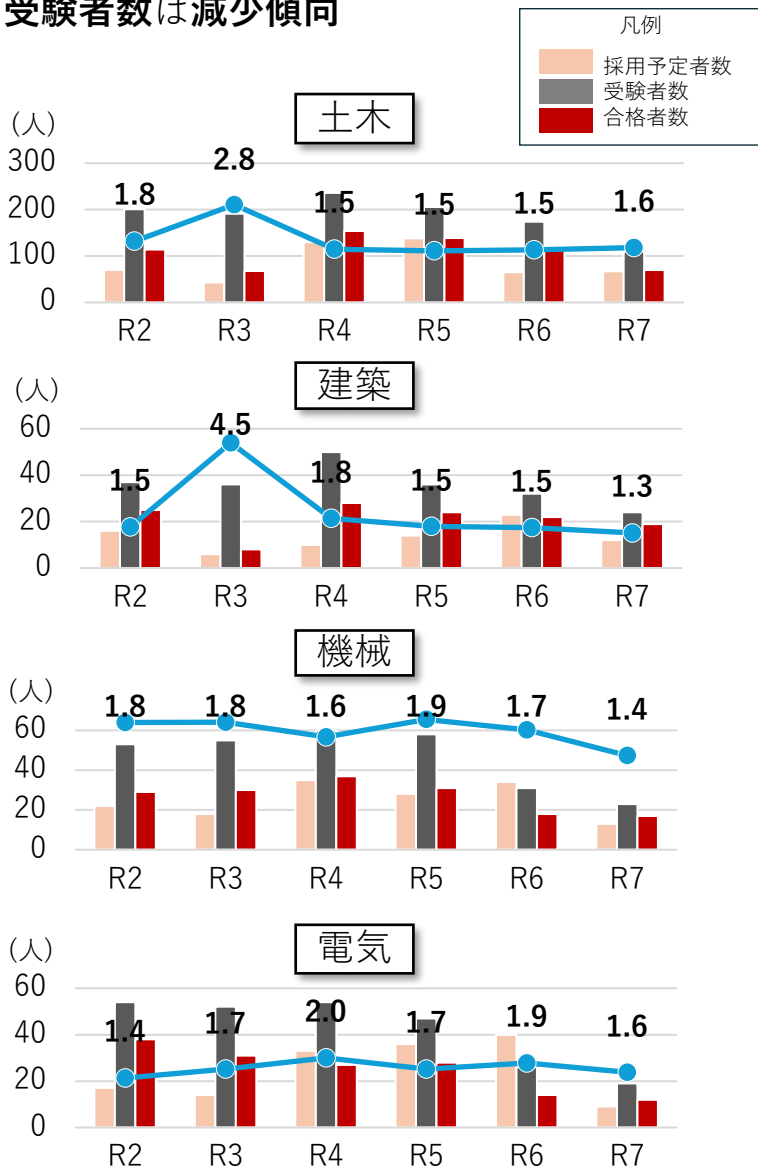
175都市への**渡航・受入**を実施し、先進的な取組を発信

→ 持続的で生産性の高い執行体制を維持していくためには、**人材確保・技術力向上**の取組の**充実**は**不可欠**

令和8年度の取組を進める上での背景・現状

技術職員の採用状況 ※I類B(一般方式)

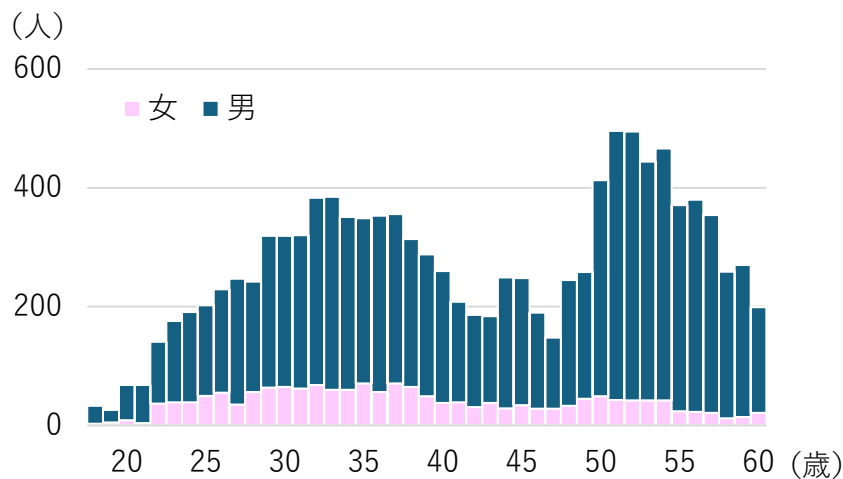
- 倍率 (= 受験者数/合格者数) は2を下回り、受験者数は減少傾向



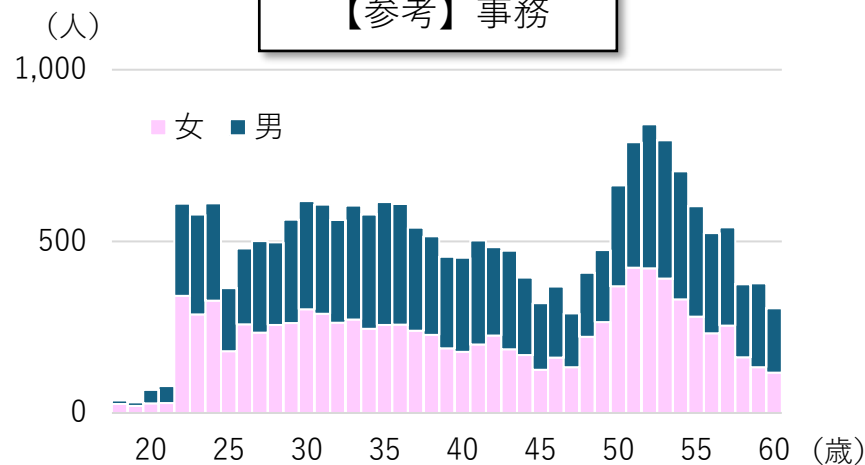
技術職員の年齢構成

- 今後10年程度で大量退職時代が到来し、20代の採用も減少傾向

技術 (土木・建築・機械・電気の計)



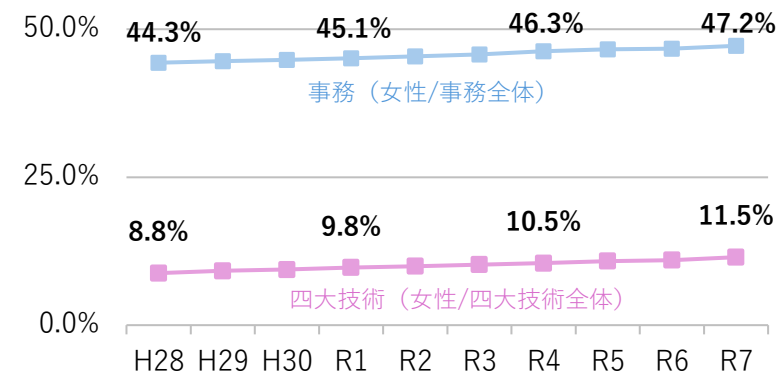
【参考】事務



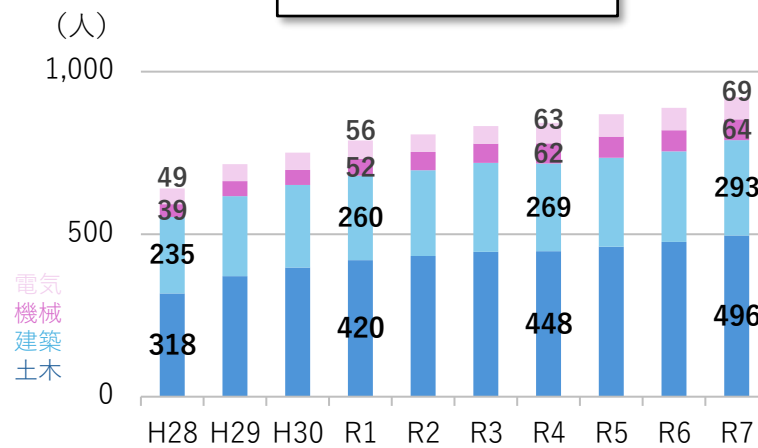
技術職員の女性割合

- 女性技術職員の人数は増加傾向にあるものの、女性比率は事務職と比べて大幅に低い

職種別女性割合



職種別女性職員数



- 激化する人材獲得競争や定年退職者数の増加傾向等、技術職員の確保は厳しい状況
- 社会インフラの整備や維持管理を着実に進めるため、専門知識やノウハウのある技術職員の確保は不可欠
- 技術職員確保に向けた取組をさらに強化し、技術会議で一丸となって積極的に展開

技術職員の確保

拡充

新規

「都庁技術職 仕事紹介 キャラバン」始動

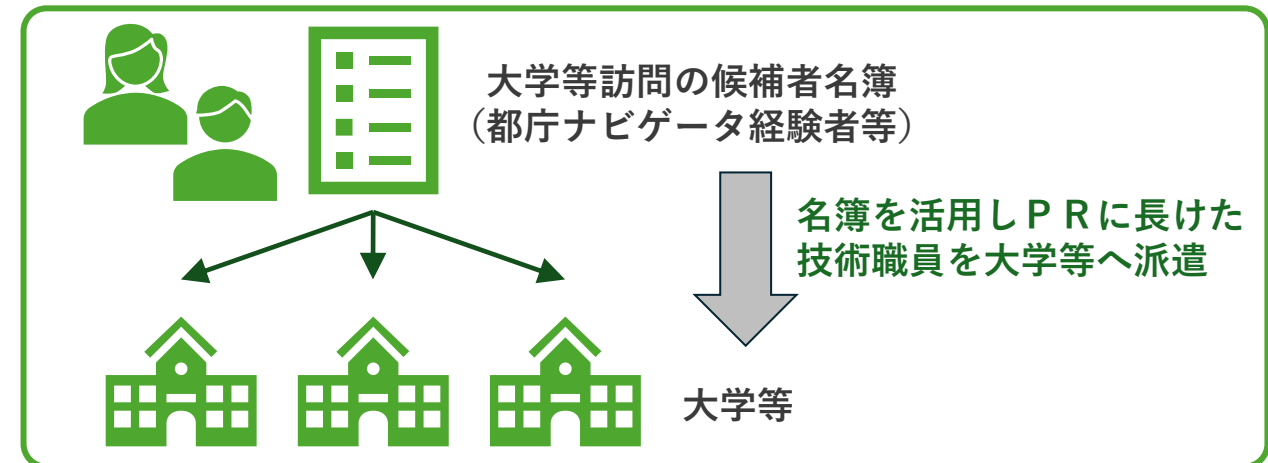
- ・都庁技術職の仕事や魅力を学生に直接伝える大学等訪問について、**発信内容の充実、訪問先・訪問回数**の拡大を図る
- 就職先としての都庁技術職の学生の興味・関心を高め、受験者数の増加につなげる



大学等訪問によるPR活動の様子

都庁技術職PRチームの結成

- ・都庁の仕事や魅力の説明経験を有する都庁ナビゲータ経験者や各局の意欲ある職員を募り、**PR人材名簿を新たに作成**
- 大学等訪問におけるPR体制を強化



PR体制の強化イメージ

令和8年度の主な取組 ～技術力の向上～

- 国際情勢、自然災害、技術革新等大きな変化に直面する中、都市課題に対応するためには**技術力の底上げ**が必要
- 過年度に実施した技術職員アンケート結果を踏まえ、**職員のキャリア形成に資する取組を推進**

技術職員の育成・定着

拡充

体験DXラボ2026の開催

- ・ 昨年度初開催した、各局の取り組むAI・DX等に関する知見を共有するデジタル技術体験会について、**出展内容の充実、参加者の拡大**を図り開催
- 技術職員のデジタルリテラシーの底上げや取組の浸透を図るとともに若年層へ技術職場の魅力を発信



デジタル技術体験会（R7開催）の様子

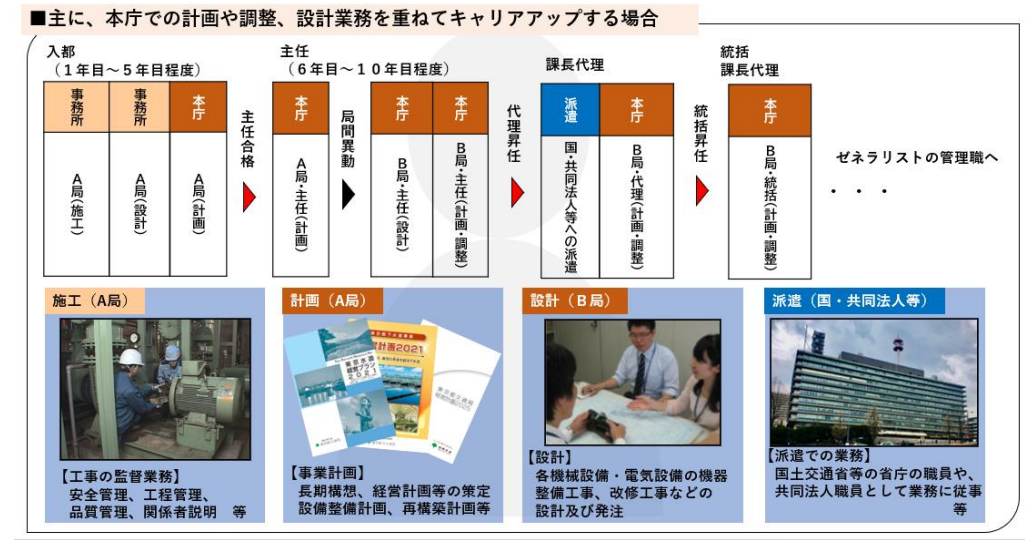
新規

異動モデルの可視化によるキャリア形成支援

- ・ **異動のモデルパターンを整理、見える化**し、将来のキャリアプランのイメージを持ちやすくするため、更なるサンプル収集やデジタル技術（アプリ等）を活用しつつ**庁内展開**を図る

→ 特に若手職員における将来のキャリアパスに関する不安を解消し、主体的な業務遂行や能力開発を促進

機械・電気職① 本庁タイプ



令和8年度の主な取組 ～技術力の向上～

技術職員の育成・定着

拡充

女性技術職員の活躍基盤・人材創出の強化

- ・女性技術職員の活躍に向けた機運醸成を図るためのイベントを企画・開催
- ・業界・都庁への参入を促進するため、**理系の女子中高生向けオフィスツアー**（都立高校生含む）への協力

→女性技術者のキャリア形成を支援、横の繋がりを形成、女性技術職員の参入促進を図る



ネットワーキング
フォーラム（R7開催）
（オンライン併用）

東京の技術力の発信強化

拡充

都市間連携の強化によるプレゼンス向上

- ・各都市の技術者が集まる国際会議等でのプレゼン、ブース出展を実施
- ・国際ネットワークを活用し、**実務責任者級による国際交流を実施**

→東京のプレゼンス向上・世界共通の都市課題解決に寄与

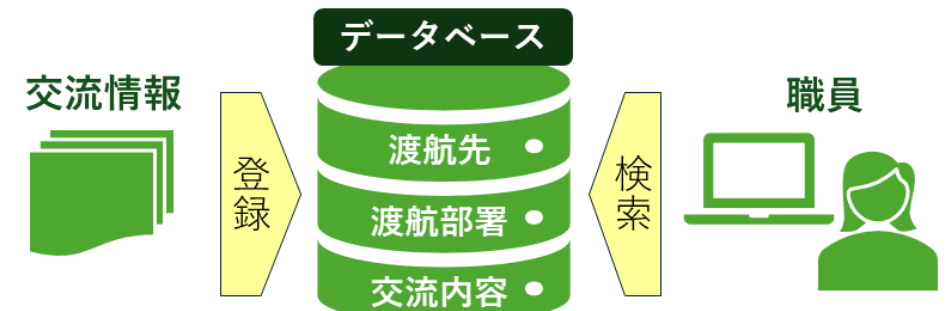


海外交流データの利活用環境の構築

新規

- ・各局の海外交流実績（渡航・視察受入等）を一元化したデータベースの**運用を開始**
- 技術力の効果的なPRや海外交流の分析等に活用

R1～R7の約600件の海外交流実績データを登録



海外交流実績データベースのイメージ

「技術人材確保」部会

□技術職員確保に向けた取組の強化

- ・大学生等へのPR活動
(大学訪問リストの作成、組織的な訪問に向けた調整、訪問先の新規開拓、就活イベントへの参加、大学訪問結果の分析・取組検討)
- ・高専生、工科高校生等へのPR活動
- ・経験者採用に係るPR活動
- ・入都試験合格者への事業説明
(本庁職場見学会、各局事業説明会、現場見学会)
- ・人事部、人事委員会と連携した更なる人材確保策の検討

□政策連携団体との連携

- ・都庁セミナーへの参加検討

□区市町村への技術支援の実施

- ・東京都都市づくり公社における人材バンク設置運用
- ・アンケート結果を踏まえた技術支援を推進

□建設業界のイメージアップ、工科高校生の育成

- ・工科高校と建設団体との連携施策の推進

「技術力向上」部会

□技術職員の育成・定着

- ・キャリアモデルの提示及び活用
- ・技術職員向け現場講習・見学会の開催
- ・TOKYO空き家魅力発信プロジェクトの支援
- ・女性活躍推進に向けた取組
- ・新技術の活用、浸透（体験DXラボ2026の実施）

□東京の技術力の発信強化

- ・都市間連携の強化による技術力の発信
- ・実務責任者級による国際交流
- ・国際交流データベースの更新
- ・グローバル専門人材支援
- ・G-NETSとの連携
- ・国際発信ツールの更新（PRペーパー）
- ・AI動画の作成促進

推進体制

○「技術人材の確保」「技術力の向上」に向けた取組を一層強力に推進するため、2つの部会を設置

全体事務局

(政策企画局・都市整備局)

技術人材確保部会
(交通局・下水道局)

技術力向上部会
(港湾局、水道局、建設局、住宅政策本部)

令和8年度のスケジュール

| | 第一四半期 | | | 第二四半期 | | | 第三四半期 | | | 第四四半期 | | |
|---------------------|------------------|---|---|--------------|---|---|------------------|----|----|----------------|---|---|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 本会議 | 令和8年度第1回 (第124回) | | | | | | 令和8年度第2回 (第125回) | | | | | |
| | ★ 活動内容の決定 | | | → 最終報告 ★ | | | | | | | | |
| 技術会議 主催の イベント | | | | ○ 体験DXラボ2026 | | | 女性活躍推進イベント | | | ○ 都庁セミナーへの参加検討 | | |